

# 玉川教会たより

NO. 488

2016年11月18日

町田市玉川学園4-5-32

Tel. 042-732-9321

FAX. 042-732-9337

Eメール chiyosi514@yahoo.co.jp



## 『キリストの祭り』

▼未だパソコンもコピー機もなかった時、プリントごっこという簡易印刷機を使ってクリスマス諸集会案内の葉書を作った。なかなかの出来映えに自己満足。ところが教会員に見て貰ったら、クリスマスのスペルが間違っているという、Christmasのtが抜けていた。300枚の葉書は一枚5円で新品と交換して貰えるが、何しろまるまる2日分の手間暇が全く無駄になった。

▼語学苦手の私でも、さすがにChristmasの綴りは知っている。では何故間違いは起こったのか。あるキリスト教出版から出ている文字・カット集から文字を切り抜いて貼り付けた。プリントごっこはそうして作る。刷り重ねれば、今日のカラーコピーに見劣りしないものが作れた。そのカット集に間違いがあったのだ。… 版元は教団出版局ではない。

▼Christmasでもかまわない… とはいかない。恥ずかしいこともあるが、クリスマスは、Christ masでなければならないからだ。masは祭り、むしろミサ、礼拝だ。クリスマスは、キリストの祭り、キリスト生誕祭だ。今、パソコンで打ったら、聖誕祭と出た。これは間違いではないかも知れない。

▼阪神の時も東日本の時も、大震災後、各地の祭りが自粛された。被災者の心情を思えば、浮かれている場合ではないという理由だ。理解・同調出来るが、しかし、祭りの多くは、災害や戦争で亡くなった人々の慰霊に起源を持つ。それを自粛するということは、祭りが慰霊の意味を失い、ただ浮かれ騒ぐものに墮していたということか。

▼アドベントに入ってから、妻の母が99歳で召された。年賀状を辞退する葉書を出した。その葉書は、クリスマスカードだ。クリスマスカードを自粛することはない。また、身内が亡くなったという理由でクリスマスカードを止めるなら、毎年のように神の家族たる教会員が亡くなる教会では、永久廃止だ。

▼詩編42編5～6節。

『05. わたしは魂を注ぎ出し、思い起こす

喜び歌い感謝をささげる声の中を 祭りに集う人の群れと共に進み  
神の家に入り、ひれ伏したことを。

06. なぜうなだれるのか、わたしの魂よ なぜ呻くのか。神を待ち望め』

詩人は、詳細は不明だが、地位立場が脅かされ、人々の蔑みを受け、お前の神はどこにいるのかと罵られる。信仰的にも危機を迎えた詩人は、かつての宮詣を思い起こし、自らを慰め励ます。ミサそして祭りが、詩人の魂の危機を救った。

▼2016年のクリスマス礼拝、そして祝会等の諸集会が、信仰の思い出として残り、後々も、信仰を支える力となればと祈るばかり。

**MERRY**  
**CHRISTMAS**